

菫木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

小石丸

先日 NHK ブラタモリで東大寺正倉院御物の管理について紹介していた。それで思い出したのが、“小石丸(こいしまる)”。小石丸とは、奈良時代から育てられていたと言う蚕の品種だ。稲同様に品種改良が進んでいて現在は殆ど飼育されていない。古い種ゆえに、現代種に比べ糸が短い・太さが均等でない等劣ることが多いからだ。しかしながら正倉院御物の絹織物等の修繕に古い種の生糸を使いたいと言うこともあり、皇居紅葉山で皇后が小石丸を飼育している。蚕の繭をお湯でほぐして糸にしたものが生糸である(下記QRコード動画を参照)。生糸を糸にして織ったものが絹織物。ジャパンシルクとして珍重され、明治以降太平洋戦争後もしばらく外貨を稼ぎ、我が国を近代国家に押し上げた。ただシルクは多くの人手が必要とし、繭産地では人と蚕と一緒に住むこともあり、日に何回も桑の葉を採取し餌として与えた。そのため第2次産業への人手の移転が進むと養蚕は廃れていく。それでも繭から糸を繰り出す作業を自動化しようとした機械が、世界遺産富岡製糸場の構内に残されている自動繰糸機だ。PRINCE とか NISSAN という銘板が付いているが、戦後立川飛行機を解雇されたメンバーによる“たま電気自動車”(後にプリンス自動車工業となる)が必死に開発した。富岡の機械は不動だが、安中市と酒田市で現在も生産用として稼働している(安中の会社は見学可能)。自動化されたと言え、糸が切れたりする等のトラブルには人が対応せざるを得ない。だから生糸の生産量が少なくなり、製糸作業者のスキルが上がらない日本製生糸は残念ながら、世界に伍す一級品とは言えなくなった。さびしい限りだ。

ところで、蚕からクモ(蜘蛛)の糸を生産しようという試みがある。クモの糸は重さあたりで、鋼鉄の 340 倍、炭素繊維の 15 倍と言われる夢の強力繊維だからだ。蚕の遺伝子にクモの糸を作る部位を組み込み、蚕がクモの糸の繭を作るのである。炭素繊維について、友の会ゴロ報 146 号に「炭とロケット」(下記QRコード参照)に記したが、元の材料が石油由来ということもありSDGs的でない。炭素繊維の代わりにクモの糸で作られた軽量の旅客機や自動車等が出来ることは素晴らしいことだ。ロケット屋だった僕には、クモの糸で作られたロケットが飛ぶ日が早く来て欲しいと願う。実は日本の炭素繊維製ロケットは、富岡製糸場のある富岡市にある工場で作られている。周囲には蚕の餌である桑(横浜観察の森にも多いが)もたくさん生えてる自然の豊かな地だ。何とか頑張ってクモの糸の吐く蚕を作り上げて欲しい。ただ繭から糸を繰る機械をどうするかが問題だが(もう何年も製作されていない。図面はT自動織機にあるかもしれない)。ちなみに世界では中国でほぼデッドコピーされたマシンが稼働している

関根和彦



自動繰糸機



炭とロケット

1. 前回運営会以降の活動実績

- 2月24日(土) 20名 ドラム缶炭焼き 森の作業体験(間伐) ZFC 運営会
- 2月28日(水) 15名 炭小屋作業 クヌギの林草刈(斜面・リンドウ)
- 3月2日(土) 19名 池ノ上ホダギ準備玉切・丸太搬入 FGF 出展準備
- 3月6日(水) 5名 炭小屋作業
- 3月9日(土) 21名 竹林整備材・搬入 FGF 出展準備
- 3月13日(水) 13名 炭小屋作業 クヌギの林材運搬 FGF 出展準備

※地域社会との交流(作品展示と森の紹介):販売実績

	3日	7日	10日	14日	24日	17日	28日
販売	¥5,000	¥1,400	¥3,600	¥3,600	¥600	¥11,000	¥4,600

2. 連絡、確認、提案

- ①定期会計報告書(別紙)
- ②「4月21日(日曜日) 9:30-12:00 森をまもるボランティア」を ZFC 担当で行いますので、スタッフとして、参加協力をよろしくお願いいたします。なお、友の会会員は、必ず1回は参加する義務がありますので、未だ参加したことのないメンバーはぜひ、この機会に参加ください。
- ③5/3-6 に予定されているフラワー&ガーデンフェスティバル(FGF)への出展を予定(別紙)
- ④来年度の業務担当(別紙)
- ⑤ZFC ホームページの紹介
- ⑥その他

3. 今後の活動予定

- 3月16日(土) クヌギの林材運搬 製材 運営会
- (3月17日(日) 友の会定例会&理事会)
- 3月20日(水) 炭小屋作業 炭小屋裏伐倒予備 FGF 準備
- 3月23日(土) クヌギの林伐倒材搬入予備 FGF 準備
- 3月27日(水) 炭小屋作業 製材 FGF 準備
- 3月30日(土) 炭小屋裏伐倒玉切 ZFC 通信発送 FGF 出展準備
- 4月3日(水) 炭小屋作業 竹炭材準備 炭小屋裏伐倒玉切引揚げ ヒノキ皮むき FGF 出展準備
- 4月6日(土) 友の会総会 しいたけホダギ駒打ち ヒノキ皮むき 竹林整備(タケノコ除伐)
- 4月10日(水) 炭小屋作業 本窯炭材作り 竹林整備 FGF 準備
- 4月13日(土) 竹林整備 本窯炭材作り予備
- 4月17日(水) 炭小屋作業 竹林整備 FGF 準備
- 4月20日(土) 運営会 ZFC 総会(センター会議室) 炭材準備 製材
- 4月21日(日) 森をまもるボランティア
- 4月24日(水) 炭小屋作業 竹炭材準備 ゴロ報・ZFC 通信印刷発送 FGF 出展準備
- 4月27日(土) 炭小屋裏または 7 区伐倒 ゴロ報・ZFC 通信印刷発送予備 本窯炭材作り

文責(星隈)

— 以上 —